

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

横浜市民ふるさと村



今年は
道志村との
特別な年!

水道局キャラクター
はまピョン

“山梨県道志村”の水源林取得100年記念

平成 28 年は、横浜市が道志村に水源林※1を取得してから 100 年を迎えます。

100 年目の節目となる本年が“両市村発展のための飛躍の年”となるよう、市民の皆様、横浜市民ふるさと村である道志村の素晴らしさ、水源や水の大切さを知っていただくとともに、これまで育んできた友好交流をさらに推進します。



道志村の全景

横浜市と道志村は、横浜市が明治 30 (1897) 年に道志川から取水を始めて以来、水を通じて、固い絆で結ばれています。

道志村の約 36%は、横浜市の水源地林です。この水源林の多くは、大正 5 (1916) 年に、横浜市が山梨県から購入しました。

現在では、多くの市民の皆様、企業のご協力により、水源林保全のための様々な活動※2を行っています。

平成 16 年には「横浜市と道志村の友好・交流に関する協定書」を、平成 26 年には「災害時における相互応援に関する協定書」を締結し、友好交流を深めています。

【28年度実施予定のイベント等】

- ◎道志村で記念式典の開催 (7月)
- ◎横浜市で記念フォーラムの開催 (11月)
- ◎道志村フォトコンテスト
- ◎間伐体験などのバスツアー など

※今後、横浜市委で 28 年度予算が審議されます。



間伐体験の様子

※1 水源林とは

雨水をたっぷり吸収し、良質な地下水に浄化するとともに、河川への流量を調整したり、土砂の流出や濁水を緩和する機能を持った森林で、「緑のダム」とも言われています。

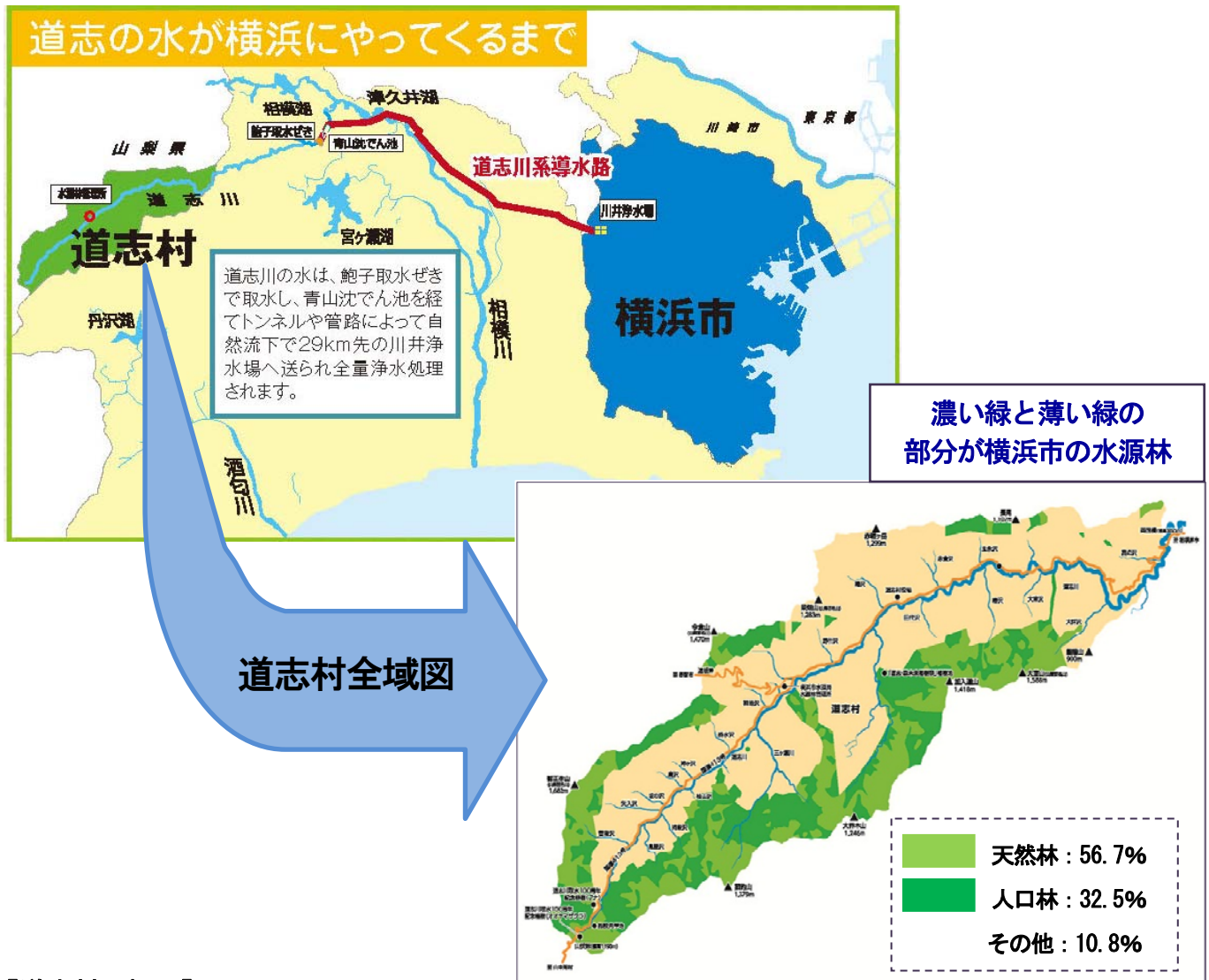
※2 水源林保全の様々な取組

- ・道志水源林ボランティア事業
- ・水のふるさと道志の森基金
- ・水源エコプロジェクト (W-eco・p) など

【道志村と横浜市の交流の歩み】

明治 20 (1887) 年	全国初の近代水道が横浜に誕生 (相模川から取水)
明治 30 (1897) 年	道志川から取水開始
大正 5 (1916) 年	山梨県から水源林 2,780ha を取得 (現在は 2,873ha 所有)
平成 16 (2004) 年	「横浜市と道志村の友好・交流に関する協定書」の締結
平成 26 (2014) 年	「災害時における相互応援に関する協定書」 「道志村への水源林木材の寄付に関する協定書」の締結
	※水源林木材を利用し、現在、道志小学校・中学校を建設中

【道志村の場所と水源林の現況】



【道志村の概要】

総面積	7,957 ha (東西 28 km、南北 4 km) 内、森林面積・・・7,468 ha (対総面積割合 93.9%) 横浜市保有林・・・2,873 ha (対総面積割合 36.1%) ※都筑区の面積 (2,788ha) とほぼ同じ
人口 (H28. 1. 1 現在)	1,792 人 (男性 914 人、女性 878 人)
世帯数 (H28. 1. 1 現在)	622 世帯
村制施行	1889 年 (明治 22 年)
キャッチフレーズ	緑と清流と歴史の郷

お問合せ先

水道局水源林管理所長	温井 浩徳	(1月6日記者発表当日)	電話 6 3 3 - 0 1 2 5
		(1月7日以降)	電話 0 5 5 4 - 5 2 - 2 0 0 4
政策局大都市制度推進課広域行政担当課長	堀 敏彦		電話 6 7 1 - 2 1 0 8